



今月の表紙

【明和振興センター 書初め教室】

目黒仁也さん、ふみ江さんを講師に招き、「書初め教室」が12月26日に行われました。

参加した児童は、福島県書き初め展の課題を題材に習字の筆運びや姿勢などを学びました。

教室の最後で、仁也さんは「皆さん、練習した成果が見られて、しっかりと字が書けるようになりました。自信を持ってください」と児童の頑張りを称えました。

《特集》

新年のご挨拶…………… 2～3

只見ふるさとの雪まつり開催決定… 4～5

「民生児童委員」の一斉改選 …… 6～7

《News&flash》…………… 8～9

《町の話》…………… 10～11

ご挨拶

未来に託せる 持続的なまちづくり

只見町長 渡部 勇夫



明けましておめでとうございます。

令和五年の初春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、国際的にみれば、国と国の紛争が続く、国同士がグループ化し、核の取り扱いの話題もニュースになるなど非常に緊張感の増す世の中になってきました。

加えてそれが原因で様々な物が値上がりとなり、明るい兆しが見えません。

国内では元総理の突然の訃報から端を発し、旧統一教会の問題が一躍取り上げられ、急遽それらの活動を規制するための新たな法案が可決しました。

その後、防衛と増税の話題と、まさに目まぐるしい事柄が次々と起こっています。

只見町においては、昨春は只見高校の二十一世紀枠全国選抜高校野球大会出場、そして本大会で強豪校相手に会津勢初めての一点を獲得する素晴らしい活躍がありました。

秋には十一年ぶりにＪＲ只見線が全線運転再開を果たし、只見小学校体育館で国土交通大臣や福島県知事をはじめ多くの関係者の方々と共に記念式典を挙行することができました。

これもひとえに町民の皆様はじめ国、県、会津地方や沿線の自治体関係者や

ＪＲ東日本、並びに工事にあたられた関係会社、全国の鉄道ファンなど多くの皆様のお力の賜物です。改めまして心より感謝申し上げます。

本年は、この素晴らしい出来事を一過性に終わらせることなく、持続的な取り組みにしていかなければなりません。

只見町は人と自然の共生をまちづくりの根幹に掲げています。

文化活動や産業活動も当然その考えを融合させる町づくりを標榜しており、私たちは落ち着いた話し合いをしながら、未来の子どもたちに託せる持続的なまちづくりを目指してまいりたいと思います。

只見線の全線運転再開は、紅葉の時期とも重なり、多くの方々にお越しいただきました。一方受け入れ態勢の課題も明らかになりました。

ＪＲ東日本に列車ダイヤの改正を町議会と共に要望していくことはもちろんですが、只見駅舎の課題についても話し合いをしていかなければなりません。

また、町としましては、季の郷湯らりと会津ただみ振興公社の経営実態を直視し、観光誘客・案内等の機能を含め三者が一体的に取り組む経営体制を目指してまいります。

農業においては、只見地区と梁取地区の圃場整備が本格化してまいりますので、この事業の推進と共に新たな地区の調査も行つてまいります。

美味しい米づくりや南郷トマト、花きの栽培農家が持続的経営ができるよう支援してまいりたいと考えています。

商業においては、商工会とプレミアム商品券の発行額や時期の改善を協議しながら、地元商店の振興と町民の皆様の生活応援をしてまいります。

製造業においては、経営者・事業主の方々と積極的な意見交換を行い、それぞれの業種に合った支援制度を共に考え、町議会とも協議しながら支援を行つてまいりたいと考えております。

医療・保健・福祉・介護・生活支援においては、引き続き体制の充実に努めてまいります。

特に認知症になり、財産管理等の判断が難しくなり、その結果不利益を受けないよう、本年４月から成年後見制度推進のための組織を設けたいと考えております。

大まかな事柄は、申し上げましたが、四月には町の組織を再編し、推進を強化してまいりたいと考えております。

改めまして町民の皆様、並びに町議会のご理解をいただかなければ何ひとつ成し得ません。心からのお力添えをお願い申し上げます。

年頭にあたり所信の一端を申し上げますとともに、本年が町民の皆様にとりまして良き年でありますようご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

新年の

政策提案のできる 議会を目指して

只見町議会議長 大塚 純一郎



あけましておめでとうございます。
只見町議会を代表して、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、いったん終息の兆しを見せた新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返して、感染力がより強いウイルスの出現により、町内でも感染者数が急増し、各地域の行事や各種イベントの自粛を余儀なくされました。また、ロシアがウクライナに軍事侵攻し、世界平和を脅かした衝撃的な事件は、改めて平和の尊さを再認識した出来事で、今なお続く痛ましい戦闘が早期に解決し、平和と安定が実現するよう願ってやみません。

日本経済を取り巻く状況は、ウクライナ情勢やアメリカとの金利格差による急激な円安などにより、原油、天然ガスなどのエネルギー資源や原材料、食料などの価格が高騰し、住民生活や地域経済に大きな影響を与え、不安と緊迫感が漂う一年であったと感じています。

町内においては、只見高校野球部が春の選抜高校野球大会で甲子園初出場という快挙を達成しました。只見町の若い力が、全国の強豪校を相手に躍動

する姿は、町内はもとより、過疎化の進む全国の中山間地域に勇気と大きな感動を与えてくれたものと考えております。長谷川監督をはじめ選手の皆さんの頑張りに、改めまして敬意を表するとともに、支えていただきました多くの皆様方に心から感謝を申し上げるしだいであります。

また、十月一日にはＪＲ只見線全線運転再開の夢が叶いました。様々な困難を乗り越えての再開であり、関係する全ての方々のご支援、お力添えに對しまして感謝を申し上げます。また、今後とも力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、本町は一段と少子・過疎・高齢化が進行し課題が山積しております。令和八年度の開通に向け工事が進む国道二八九号 八十里越道路は、本町経済や町民生活に大きな変化が予想されます。単なる通過地点にしないため、観光客や交流人口の増加に伴う経済対策や受け入れ対策及び、通年通行に伴う冬期間の除雪対策や、町内国道の狭隘区間の整備など、新しい時代に備えた環境づくりに努めて参ります。また、当町の豊富な山林資源の利活用については、将来に向けて持続可能な地域づくりのため、公共投資や政策的支援など十分に議論して参ります。更には、幼児期から一貫した子育ての推進対策についても、これからの子育て支援の

在り方について施策の選択に努めて参ります。この他にも様々な課題が山積しておりますが、しっかりとした議論を重ね課題の克服に努めて参ります。

議会は二元代表制の下、最高意思決定機関という基本的な役割に加え町民の目線で町の業務を監視・評価し、更には政策提案する役割と使命があります。只見町議会としては「町民の皆さんと共に歩む議会」を実現するため、議会だよりの発行や、議会報告会、一般会議などを通じて皆さま方の声をお聞きし、町政に反映させるとともに、議会改革を更に推進するため、議員間の政策討論を通じて「政策提案のできる議会」を目指し、町政課題に取り組んで参ります。そして議会と当局は、互いに研さんし合いながら、町民の意思を尊重し、只見町発展のため全力を尽くして参りますので、尚、一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして幸せと希望に満ちた素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。





第50回

只見線全線運転再開記念 只見ふるさとの雪まつり 開催決定!!

3年ぶりの開催
大雪像は

只見線の列車をイメージ

只見町の冬の一大イベント「只見ふるさとの雪まつり」を2月11日(土)、12日(日)に開催します。

前回の雪まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら開催中止となったため、今年は3年ぶりの開催となります。

今回で半世紀の歴史を刻む只見ふるさとの雪まつりは、「只見線全線運転再開記念」を冠し、只見線の列車をイメージした大雪像を作製します。また祈願花火の最後は、「只見線全線運転再開感謝花火」(1日目)、「自然首都・只見ユネスコエコパーク歓迎花火」(2日目)が夜空を彩ります。会場内では郷土料理などが楽しめる「ゆきんこ市」が並び、ステージでは郷土芸能発表やお笑いライブの他、只見線に縁のあるアーティストによる歌謡ショーなどが盛大に行われます。

10日(金)には前夜祭を開催します。カラオケ大会や大雪像スペシャルライブアップが行われ、本祭の開催に向け盛り上げます。

私たちが雪まつりを盛り上げます!



やまざき りな
山崎 莉奈さん
町内在住

うえすぎ あやの
上杉 綾乃さん
町内在住

3年ぶりの開催となる「只見ふるさとの雪まつり」が皆さんの心に残る雪まつりとなるように、町民の皆さんをはじめ、来場されるお客様と一緒に楽しみながら盛り上げたいです。精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

春には「只見高校の春のセンバツ高校野球大会出場」、秋には「只見線全線運転再開」と只見町が注目され、大いに盛り上がった年になりました。そんな中、「只見ふるさとの雪まつり」開催にあたり、たくさんの方々に只見町の魅力を知っていただきたいです。



雪まつりスケジュール

前夜祭ステージ上で
自己紹介や雪まつりの
PRを行う雪むすめ

2月10日(金) 前夜祭

- 17:30～ 開場 ゆきんこ市オープン
- 18:00～ カラオケ大会
- 18:45～ 大雪像スペシャルライトアップ

雪まつり会場では、
貴重な郷土芸能などが
見ることができます



2月11日(土)

- 9:30 開場 ゆきんこ市オープン
- 10:00～ 開会式
- 11:00～ 梁取太々神楽
- 12:00～ 郷土芸能発表
- 13:00～ 歌謡ショー・アーティストライブ
- 15:15～ ゲームイベント
- 17:00～ 厄払いの儀 おんべ
- 18:30～ 大雪像スペシャルライトアップ
- 19:00～ 祈願花火大会



2月12日(日)

- 9:30 開場 ゆきんこ市オープン
- 10:00～ 戦隊ヒーローショー
- 11:00～ 郷土芸能発表
- 12:30～ ダンス&マイムコメディ
- 13:00～ ゲームイベント
- 14:00～ お笑い芸人!爆笑ライブ
- 15:00～ 戦隊ヒーローショー
- 16:00～ 只見中学校企画
- 16:30～ あっけらかんマジックショー
- 17:00～ 天領只見仙嶽太鼓
- 17:30～ 大雪像スペシャルライトアップ
- 18:00～ 祈願花火大会



○サブ会場 只見スキー場

2月11日～12日

10:00～ クラブ wild fox
スノーモービル体験

問合せ

只見ふるさとの雪まつり実行委員会 (只見町役場観光商工課内)

TEL : 0241-82-5240 FAX : 0241-82-5235

Mail : yukimatsuri@town.tadami.lg.jp

H P : <https://tadamisnowfes.com/>





「民生児童委員」の一斉改選

— 12月より新体制で活動 —

只見町民生児童委員の一斉改選が12月に行われ、「民生児童委員」32人と「主任児童委員」2人が新たに委嘱を受けました。6日に朝日振興センターで行われた委嘱状交付式では、渡部町長が厚生労働大臣及び福島県知事からの委嘱状をそれぞれ伝達しました。その後、総会が開かれ、会長に目黒ハナエさん、副会長に平山久美子さんと目黒真弓さんが選出されました。

委員の皆さんはこれから3年間、「地域福祉活動の担い手」として地域のために活動されます。

民生委員・児童委員とは？

民生委員は、住民の立場に立って相談を受け、皆さんの悩みを解決するお手伝いをする人たちです。児童委員は、子どもたちが安心して生活できるよう見守り、子育ての不安や妊娠中の悩みなどに対し相談、支援を行います。

※民生委員は児童委員を兼ねているため、「民生児童委員」と呼ばれます。

主任児童委員とは？

主任児童委員は、次の3点について児童委員の中でもより専門的に取り組む委員です。

- ①子どもの福祉に関する機関との連絡調整
- ②児童委員の活動に対する援助や協力
- ③児童委員とともに乳幼児を持つ親の子育てに関する活動や児童福祉に関する活動

民生委員・児童委員の7つのはたらき

1. 社会調査（アンテナ的な役割）

住民の実態や福祉ニーズを把握する。

3. 情報提供（告知板的な役割）

福祉サービス等の内容や情報を提供する。

5. 調整（潤滑油的な役割）

適切な福祉サービスの提供が図られるよう支援する。

7. 意見具申（代弁者的な役割）

問題や改善策を取りまとめ、関係機関に意見を提起する。

2. 相談（世話役的な役割）

住民が抱える問題に対し、親身に相談に乗る。

4. 連絡通報（パイプ的な役割）

関係機関への連絡等により必要な対応を促す。

6. 生活支援（支援的な役割）

生活支援活動を自ら行い、支援体制をつくる。

民生児童委員の皆さんは、月に1度の定例会を開催して情報共有などを図っている他、町民の方々に十分な福祉サービスを提供できるよう、各委員が積極的に研修会や勉強会に参加しています。

子育てや介護、教育、お金に関してなど些細なことでも構いません。ぜひお近くの民生児童委員までご相談ください。（※秘密は厳守されます）

▶
民生児童委員の皆さん
が
かるがもクラブで活動する



新体制となった 「民生児童委員」「主任児童委員」の皆さん



目黒 美穂子さん
担当/田中



山内 久美子さん
担当/原



目黒 真弓さん
担当/小川下・荒井原



平山 久美子さん
担当/小林上



目黒 ハナ子さん
担当/宮淵・上町

会長

民生児童委員



馬場 美津子さん
担当/居平・久保



長谷部 ゆり子さん
担当/叶津・入叶津・八木沢



新國 道子さん
担当/新町



酒井 洋子さん
担当/新屋敷



馬場 恵美さん
担当/只見沖



吉津 保夫さん
担当/沖・根本沢



五十嵐 晶子さん
担当/黒谷入



渡部 和子さん
担当/館ノ川・黒沢



五十嵐 由美さん
担当/塩沢・十島



酒井 みよ子さん
担当/宮原・寄岩



横山 千賀子さん
担当/櫛戸



酒井 万里子さん
担当/下福井



渡部 いづみさん
担当/上福井



菅家 正子さん
担当/黒谷町



馬場 啓子さん
担当/蓮ノ原



馬場 祐三さん
担当/梁取



角田 睦子さん
担当/小林下



吉津 唯利さん
担当/長浜・荒島



齋藤 きぬ子さん
担当/熊倉・亀岡・深沢



増田 節子さん
担当/小川上



目黒 香都子さん
担当/坂田



三瓶 敏子さん
担当/大倉下



佐藤 喜和子さん
担当/大倉上



星 紀枝さん
担当/二軒在家



馬場 敏實さん
担当/塩ノ岐



矢沢 千代さん
担当/全域



吉津 和子さん
担当/全域



荒井 安行さん
担当/布沢下



梁取 美鈴さん
担当/布沢上

主任児童委員

地域住民の安全な生活確保を目指す

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会などが要望活動

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は、11月11日に南会津建設事務所や県庁、県議会を訪問し、小林から亀岡間の未改良区間の早期整備などを要望しました。

また、只見・金山・昭和・三島県道改修促進期成同盟会と一級河川只見川河川整備促進期成同盟会が11月24日に、県に対し要望活動を行いました。県道改修促進期成同盟会は松坂峠や吉尾峠の改修などについて、河川整備促進期成同盟会は河川整備の早期実施などについて要望しました。



▲11日の要望活動では、国道289号の代替路線にもなることなど重要性も伝えました（左から3番目：要望書を受け取る渡辺県議会議員）



▲河川整備要望では、改めて堆砂除去などの要望も伝えました（左から4番目：要望書を受け取る井出副知事）



▲24日の県道改修要望で、県は現道拡幅整備計画などについて説明されました（左から4番目：要望書を受け取る大竹南会津建設事務所長）

歌と踊りのチャリティーショー

只見線応援のために寄附

『第10回頑張ろう東日本・歌と踊りのチャリティーショー』「つながれつながれ只見線」が、11月14日に季の郷湯らで開かれました。チャリティーショーは、JR只見線の全線復旧への力になろうと開催されているもので、今回は新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりました。

また、来場者などによる募金も行われ、集められた募金96,911円が町に寄附されました。チャリティーショー当日に、主催者である夢広場代表の菅初美さんから、渡部町長に募金箱が手渡されました。



▲渡部町長に募金箱を手渡す菅さん

第5次只見町行政改革大綱

答申書が提出されました

只見町行政機構改革審議会（会長 鈴木直記・株会津工場代表取締役）に対し、10月26日に諮問した「第5次只見町行政改革大綱（案）」について、12月1日に鈴木直記会長より、大綱を概ね適当と認める旨の答申書の提出がありました。



只見町第三セクター経営検討委員会

検討報告書を提出

町の第三セクター（季の郷湯ら、会津ただみ振興公社、只見特産）の経営等について検討していた只見町第三セクター経営検討委員会（委員長 郡司拓也・公認会計士）は、11月22日に経営検討結果報告書を渡部町長に提出しました。



「只見町の保育を考える懇談会」から提言

只見町の保育を考える懇談会の目黒道人委員長は11月30日に町長を訪問し、4回に渡り行われた懇談会でまとめた保育に関する提言書を提出しました。

懇談会からは、認定こども園の設置や子育て施設の設置、保育所の運営内容についてなどが提言されました。

渡部町長は「子どもたちが健やかに発達・発育できるようにしていきたい」と話しました。



▲渡部町長に提言書を手渡す目黒委員長

只見町からは3者が入賞 「福島民報広告大賞」

「第61回福島民報広告大賞」に、合同会社ねっかと県立只見高校野球部甲子園出場後援会（以下後援会）と只見町が選ばれ、授賞式が12月7日に福島市のウェディングエルティで行われました。

審査員を務めた箭内道彦氏は、「ねっかは、新しいブランドですが歴史があるように感じさせ、キャッチコピーも楽しく読ませる工夫がされていました。只見町はこの土地から甲子園に出たという力強いメッセージを写真から感じた。後援会は応援してくれた方への返信として、一步通行の新聞を双方向のツールとしてくれた」と選出理由を述べられました。



▲受賞されたみなさん

只見スキー場オープン 地元に愛されるスキー場

会津ただみ振興公社が運営する只見スキー場のオープン式が、12月23日に開かれました。

式では新國社長が「雪も積もり、天気にも恵まれ、良いオープン日となりました。安全が最大のサビビスというモットーで運営していきますので、3ヵ月半よろしくお願ひします」とあいさつしました。その後、町長や南会津地方振興局長から祝辞が送られ、大塚町議会議長の発声で安全祈念の献杯が行われました。

なお、スキー場の営業期間中、ロッジ内のレストランやまびこは無休で営業となります。



▲テープカットでオープンをお祝いました

町内の経済を使って応援 ただみ元気応援券

不安定な世界経済などによる原油価格や原材料価格の高騰が、町民生活に影響を及ぼしていることから、町民生活の支援と町内経済活性化を目的として発行した「ただみ元気応援券」の使用期限は、令和5年2月15日となっています。

使用期限が過ぎた場合にはご使用いただけませんので、使用期限内にご使用ください。

只見町の取扱店をご利用ください。

ただみ元気応援券

¥1,000

発行/只見町

© Tadami ● 使用期限 令和4年12月1日～令和5年2月15日



全国の強者に肩を並べる大健闘 菅家賢心君 準優勝！

日本空手道神居塾只見同好会の菅家賢心君（只見小2年）が、「武将杯 初心クラス小学2年生男女混合」で、準優勝を収めました。

武将杯は今回が初開催ですが、全国から参加者が集まり、全クラスで115団体1285人が参加する大きな大会です。初心クラス小学2年生男女混合は、33人が参加し、トーナメント形式で試合が進められました。

賢心君は「勝ちたい気持ちがあったので、試合中はあまり緊張しませんでした。決勝戦はとても強い相手で、負けてしまったのが悔しいです。昇級審査がすぐあるので、それを頑張って、もっと強くなりたいです」と決意を話しました。

神居塾只見同好会に興味がある方はぜひご連絡ください。

TEL 090-8842-5770（責任者：三瓶）



▲賢心君は空手を始めて、1年足らずだそうです。神居塾では経験年数に関わらず、挑戦を後押ししてくれます

只見ボランティアしゃくなげ会の活動に感謝状 JR東日本から感謝状が贈られました



▲感謝状を受けたしゃくなげ会の皆さん

只見ボランティアしゃくなげ会に東日本旅客鉄道株式会社から感謝状が贈られました。

この感謝状は、長年にわたりJR只見駅の環境整備（花壇やプランター整備等）を行ってきたことが評され、贈られました。

しゃくなげ会の皆さんは、只見線の応援と利用者の方をお出迎えする気持ちを込めて環境整備が続けられているそうです。

メリークリスマス！ 町内各地でクリスマスイベント開催

町内各地でクリスマスイベントが行われました。

只見地区では只見高校生、朝日地区ではALTのケイトリン先生、明和地区では明和青年団、かるがもクラブでは、民生児童委員の渡部和子さんがサンタクロースとなって、子どもたちにプレゼントを渡しました。



▲サンタさんが、たくさん子どもたちにプレゼントと夢を届けてくれました（右：かるがもクラブ 左：朝日振興センター）

伝統知を持続可能な地域づくりに生かす

ブナセンター講座「自然を活かした里山の知を地域博物館で『見える化』する」開催



▲只見町の「伝統知」を残すこと、生かすことの大切さを話す小林氏

ブナセンター講座「自然を活かした里山の知を地域博物館で『見える化』する」が12月17日に開かれました。

講座では、十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロの学芸員を務める小林誠氏を講師にお招きし、里山の暮らしや、自然との共生の中で育まれた伝統的な知識・知恵である「伝統知」を地域博物館で『見える化』するための具体例を学びました。

小林氏は「地域づくりは地域残しから始めることが重要です。町内外問わずみんなに必要とされ続ける地域を目指すことが地域の持続的な発展につながっていきます」と話しました。

冬の只見町の自然に触れる

ブナセンター観察会「冬のブナ林観察会」開催

ブナセンター観察会「冬のブナ林観察会」が、12月17日に深沢地区で開催され、子どもから大人まで12人が参加しました。

参加者は、約30cmの積雪の中を長靴やスノーシュー、かんじきを履き、雪上のハイキングを楽しみながら、観察対象のブナの巨木を目指しました。

観察会では、古くからお香として使われてきたカツラやシナ皮として活用されてきたオオバボダイジュについて、地元参加者の方による解説で、只見町の「伝統知」を学ぶことができました。



▲ブナの巨木と記念撮影

心に響く素敵な歌声

東京混声合唱団「只見高校クリスマスコンサート」開催

「只見高校クリスマスコンサート」が12月1日に開催され、只見高校校歌を含む17曲が、東京混声合唱団の演奏で披露されました。



▲素敵な演奏が高校の体育館中に響き渡りました

東京混声合唱団の小林音葉さんは、曲に込められた思い等を紹介しながら、「クリスマスコンサートということで、教会で聞いているかのような気持ちで聞いてほしい」と話しました。

演奏を聞いた生徒は「歌声だけでなく表情や体まで使って曲が表現されていて、とても楽しい気分で聞くことができました」と感想を話しました。

演奏に来校された東京混声合唱団9人の内の3人は、昨年の選抜高校野球大会で只見高校の試合時に甲子園球場で流された音源の録音にも参加されていたそうです。

広報ただみ診療所

認知症をどう理解するか

朝日診療所 医師 やま なみ ひろ あき
山並 寛明



4月から診療所に常勤で勤めている山並です。私事ですが1月に認知症の講演をすることになり、今日は認知症について書きました。

まだ覚えている人もいるかも知れませんが、今や誰しもが知っている「認知症」は、平成16年に生まれた言葉です。それまで「ぼけ」として捉えられることの多かった状態に病名が与えられたことは、どのような変化をもたらしたのでしょうか。病院を受診していただくとビタミン不足や硬膜下血腫（頭蓋骨の中、脳の外に血が貯まる病気）といった治療可能な隠れた原因があれば見つけて治療ができます。しかしながら認知症の最も多い原因であるアルツハイマー病は根本的な治療（つまり脳細胞を減らすのを止めるか遅らせる）薬が今のところなく、あるのは症状（記憶力や判断力の低下）が長期的に見て抑えられると示された薬のみであり、治療効果を目に見える形で実感できないのが現状です。むしろ認知症という病名で本人が落ち込んだり、周囲から心理的な距離を抱かれたりするマイナス面があるかもしれないことには注意が必要です。

「認知症」は厳密には病気ではなく、障害です。どういうことか説明するのに、厚生労働省のホームページから認知症の説明文を引用すると、『脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態』とあります（下線は筆者が追加）。つまりこれに従うと、屁理屈のようですが、脳の障害で認知機能が下がっていたとしても、生活に困っていなければ極端な話「認知症」でない、ということです。ここから見えてくるのは2つのアプローチです。1つは先ほどにも述べたような脳の障害に対する医学的アプローチ。そしてもう1つは、認知機能の低下があっても生活に支障が出ないように周囲の環境の工夫をすることです。前者には限界がありますが、後者は一緒に考えることができます。本人と家族だけで悩まず、かかりつけ医や地域包括支援センターにぜひ相談してください。

地域おこし協力隊として Vol.97

只見町に来て8か月経ちました

只見町教育振興協力隊 なかしま みほ
中島 美穂



教育委員会でお世話になっています中島と申します。

単身只見に来て早8か月経ちました。この間いろいろありましたが、どうにかここまで来たという感じです。

振返るほどの期間を過ごしたわけでは無いのですが、1、2年住んでいるような錯覚を起こします。たぶん、それだけここでの生活が濃いのだらうと思います。

現在、いただいている仕事は今まで経験のない事が多く、「困った」、「どうしよう」と常に頭を抱えています。とはいっても始めなくては何も進まないので手探りでやりつつ、周りに助けを求めながら業務を進めています。なりふり構わずの体なので周りの方々には迷惑しかかけていないと自覚しつつも頼ってしまう自分を情けなく思うこともしばしばです。

ですが、そんな私にいつも手を差し伸べてくださる皆様に本当に感謝しかありません。この場を借りてお礼を申し上げます。

今年は皆さんに迷惑をかけない事を目標に頑張ろうと思います。

12月に降った大雪の洗礼を受け少し途方に暮れていますが、効率的な除雪の仕方を研究しながら、雪の生活にも早く慣れたいと思います。

これからもよろしくお願いいたします。

只見町のユネスコエコパークの取り組み②

多雪地帯のスギ人工林の
持続可能な管理・経営のための技術開発

戦後日本では、復興と高度経済成長の過程でひっ迫した木材需給に対応するため、木材生産を増加する目的でスギなどの針葉樹の植林が政策的に進められました。その中で、只見町も集落周辺などにスギが植林されました。しかし、豪雪地帯にある只見町では、スギ林は雪の影響を受けるため管理コストがかかり、良質材の生産にも不利な条件にあります。さらに、1960年代、木材輸入が自由化され、安い外国産材が流入し、国産材の材価が下落し、国内林業は停滞します。そのため、只見町のスギ林の大部分は十分な手入れが行われず、経済的な価値の向上や地域資源の育成が困難な状況です。

こうした中で、将来を見据えた森林資源の充実と人工林の多様な機能の向上を図るために、まずは豪雪地帯に適応した人工林の育成技術と管理方法を明らかにする必要があります。

そこで、只見町は、持続可能な林業・森林管理のためのモデル林（「ただみ豪雪林業体験・観察の森」）造成事業を行っています。この「ただみ豪雪林業体験・観察の森」（以下、体験の森）は、町民の協力のもと、2016年に黒谷地区にある1.8haのスギ人工林に設定されています。

只見町プナセンターは、体験の森において、現況把握と林況に則した管理・生産目標と育成技術を検討することを目的に、毎木調査や植生調査などを行いました。その結果、体験の森には、大きく4つの異なる様相の林（下写真）が存在し、それぞれの林でスギと広葉樹の幹材積の蓄積、スギの品等構成、広葉樹の侵入程度は異なることが分かりました。この結果から、林ごとに管理目的、生産目標を定め、目的とする林型へ誘導するための間伐などの保育作業を行うことが重要であることが考えられました。只見町内のスギ人工林が体験の森と同じような状況にあるとは限りませんが、体験の森を一つのモデルとして、持続可能な管理・経営のための技術が開発され、町内のスギ人工林の価値が向上することが期待されています。

「ただみ豪雪林業体験・観察の森」の4つの林

1 広葉樹区：スギの保育作業が行き届かず、クリやホオノキなどの広葉樹が多い区域。少数の成長の良いスギは残し、残りは除間伐を行うことで広葉樹の成長を促し、広葉樹林化を進め、将来の広葉樹用材生産林や環境林に整備する。

2 針広混交区：針葉樹と広葉樹が混交した区域。形質の悪いスギは伐採し、品質の良いスギを育成しつつ、侵入している広葉樹も活かし、針広混交林化し、針葉樹と広葉樹の用材生産を目指す。

3 針葉樹A区、4 B区：初期保育が行われた箇所では、スギ人工林が成立していて、スギの用材生産が可能。A区は60年生のスギが占め、それらは立木サイズが大きく、比較的形質も良いことから将来の大径の用材生産の可能性が高い。一方、B区は40年生のスギが占める区域で、形質は良好とは言えず、並材生産を目標とする。



詳細な内容は、只見町プナセンターが刊行する只見町プナセンター紀要 No.6 に掲載されています。

町民文芸



只見短歌会

令和四年十二月詠草

馬場 八智
されぎれの命であれどこの冬も施設で過ごす荷づくり急ぐ

目黒 富子
我が脇を黙して通り老人は葵の花よりしばし離れず

関谷登美子
車中より眺む伊南川只見川昔馴染みし思い出深む

立花 奏音
誰よりも早く起きたる乳幼児朝の陽よりも笑顔明るし

新国由紀子
古い母はショートステイの前日に朝から時かけ支度を済ます

渡部ヨリ子
啄木の歌集読みぬし若き日の「じっと手を見る」を今に重ぬる

新国 洋子
書を読めと昌子の歌集少女期より吾に給ひし師の叔父は亡し

(出詠順)

只見俳句会

十二月定例会

日高俊平太 指導

都
前日の新聞読むや暮の秋
味噌蔵の味噌調べてそぞろ寒

真理子
老夫婦坐せる日向に糸とんぼ
友待ちて梨を剥くなり雨模様

睦子
人生の半分過ぎすは雪の中
鯛焼を「おみやげです」と娘婿

紺青
初時雨両手でつつむ朝茶碗
柿落葉橙色の籠を編む

恒夫
北吹くや太き杉間に翁の碑
数え日のひと日は妻を齒科医まで

礼
冬うらら菜屑積まるる畑の隅
冬雲や森つき抜けて無線塔

一穂
ど忘れをマスクのせいに友の顔
風邪の子になめさせてみる寒の飴

修一
傾いてなお天突くや冬立木
腰痛を忘れておりし大根引き

信
コロナ禍を恐れぬ人や古都の秋
前へひたすら前へラガーの湯気



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税 務 係	☎82-5110
町 民 係	☎82-5100
保健福祉課	
保 健 係	☎84-7005
福 祉 係	☎84-7010
農林建設課	
農 林 係	☎82-5230
建 設 係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会 計 室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町民税(4期)
 - 固定資産税(4期)
 - 農集排使用料(1月分)
 - 後期高齢者保険料(6期)

お知らせ

令和5年度奨学金「只見町みらいの人財育成奨学金」奨学生募集

町では、優秀な人材を育成するために無利子で奨学金を貸与します。また、新たに町に戻ってきた際に返還を免除する制度も設けました。

一 奨学資金の対象

令和5年度に高等学校、短期大学、大学又は専門学校などに進学希望者で、品行が正しく、学術に優れている方。

二 奨学資金貸与の条件

○只見町内に3年以上引き続き住所を有し、只見町立中学校を卒業し、向学の意思があること
○貸与申請時に必要となる連帯保証人、生計維持者が只見町内に住所を有すること

三 利用可能額(貸与額)

○高等学校 月額1万2千円以内
○4年制大学、短期大学、専門学校等 月額4万円以内

※支度金(高等学校を除く)入学時のみ/30万円以内

四 奨学資金の返還

卒業または奨学資金の利用を始めた月から30歳に到達する年までの期間を据え置き期間とし、その後10年以内で返還していただきます。

五 返還免除

据え置き期間内もしくは終了後に只見町に戻ってきた場合、申請により年度ごとの返還金を免除することができま。なお、免除の年間上限額は22万2000円となります。詳細についてはお問合せください。

六 申込方法

募集要項は只見町役場駅前庁舎窓口、教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見高校、南会津高校、町内の各郵便局、東邦銀行只見支店、JA会津よつば只見支店に設置してあります。必要書類を添えて教育委員会へ申請してください。

七 募集期間

令和5年2月7日(火)まで

八 採用通知

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬の予定です。

九 問合せ先

只見町教育委員会
☎82-5320

保健師、助産師、看護師などを旨す奨学生の募集

一 対象となる職種

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

二 奨学資金貸与の条件

○法に基づき指定された対象となる職種の養成施設に在学または在所している(予定含む)こと
○養成施設に合格時点を含め、入学以前に6か月以上引き続き只見町に住所又は本籍を有すること

三 貸与額

月額10万円以内

四 奨学資金の返還及び免除

奨学資金貸与条件により原則として貸与期間満了の1年後から10年以内に返還することになります。ただし、資格取得しその職種で只見町の任期の定めのない職員として就職した時は、返還期間中の従事期間に応じた額が免除されます。(町職員として就職するまでに納期の到来した返還額と返還済額は免除対象となりません)

五 申込方法

奨学資金貸与申請書に住民票抄本(申請者と保護者)、履歴書、健康診断書、在学中の学校からの推薦書、養成施設の在学証明書(進学予定は合格通知書写し)を添えて保健福祉課保健係に提出してください。

六 募集期間

令和5年2月10日(金)まで

七 問合せ先

保健福祉課保健係
☎84-7005

県立テクノアカデミー会津「個別進路相談会」

会津地域で就職を目指す高校生やその保護者の方等を対象とした「個別進路相談会」を開催します。事前予約は不要ですので、お気軽にご参加ください。

○日時

- ①令和5年1月22日(日) 午前10時から午後1時
- ②令和5年2月26日(日) 午前10時から午後1時

○場所

喜多方市塩川町御殿場4丁目16番地 県立テクノアカデミー会津

○対象者

高校生(学年問わず)と保護者、または会津地域で就職を考える若年者の方

○その他

詳細はホームページ(検索・テクノアカデミー会津)をご覧ください。



虫歯のない子

(12月13日 3歳児検診)



いん なみ ひいろ
印南 陽色さん
(三軒在家)



こばやし あかり
小林 あかりさん
(小林)



さいとう あおい
齋藤 葵さん
(亀岡)



つの た ひでゆき
角田 秀幸くん
(小林)



ふじ た こうだい
藤田 煌大くん
(三軒在家)



町長スケジュール 〈12月分〉



- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 1 日 | 第 5 次行政改革大綱答申行政機構改革審議会会長来庁、毎日新聞福島支局長訪問（福島市） | 2 0 日 | 福島県健康づくり推進課長訪問（福島市） |
| 2 日 | 福島県企業立地セミナー（東京都） | 2 1 日 | 電源開発(株)東日本支店長及び本店水力発電部長他来庁、政策調整会議、地域活性化企業人(株)DMM.com 組織管理本部総務部長面談 |
| 5 日 | 議案検討庁議、滝調整池堆砂対策連絡協議会、朝日診療所医師との懇談会 | 2 2 日 | 雪むすめ委嘱状交付式、河北新報会津若松支局取材、福島県病院局来庁、(株)季の郷湯ら里取締役会 |
| 6 日 | 只見町民生児童委員委嘱状交付式、只見ふるさとの雪まつり実行委員会、只見町社会福祉協議会会長来庁 | 2 3 日 | 横浜国立大学教授来庁、只見スキー場オープン式、総合教育会議、目黒広信様・美樹様ご夫妻 福島県農業賞受賞祝賀会 |
| 7 日 | 「福島民報広告大賞」表彰式（福島市） | 2 7 日 | 県立南会津病院院長訪問（南会津町）、南会津建設事務所長来庁 |
| 8 日 | 一般質問検討庁議 | 2 8 日 | 仕事納めの式（役場、あさひヶ丘）、南会津地方環境衛生組合仕事納めの式（於：下郷町、南会津町） |
| 9 日 | 東北電力(株)会津若松支社副支社長及び田島電力センター所長来庁、(一社)日本ウォーキング協会事業統括専務理事来庁、ふくしま駅伝競走大会只見町チーム結果報告、政策調整会議 | | |
| 1 3 日 | 只見町議会 1 2 月会議（～ 1 6 日） | | |
| 1 6 日 | 臨時庁議 | | |
| 1 7 日 | 只見町ブナセンター講座 | | |
| 1 9 日 | 只見郵便局長来庁、館岩少年自然の家所長補佐他来庁、県立南会津病院院長年末挨拶訪問（南会津町） | | |

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分)敬称略

■ご結婚おめでとうございます

梁 取 山内 良♡萩原 久美子 梁 取

■おくやみ申し上げます

五十嵐 友 江	93歳	石 伏
五十嵐 忠 弘	80歳	只 見
菅 家 武	90歳	只 見
渡 部 弘 男	84歳	福 井
渡 部 一 夫	83歳	小 川
菅 家 紀 井	98歳	黒 谷
渡 會 ハルミ	93歳	小 林
堀 金 玉 枝	88歳	小 林

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和4年12月1日現在

人 口	3,821 (-13)
男	1,900 (-1)
女	1,921 (-12)
世 帯 数	1,588 (-3)
高齢化率	48.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 11 出生 1 死亡 8

▽あけましておめでとうございます。読みやすい広報を目指して引き続き頑張つてまいりますので、本年も「広報ただみ」をよろしく願います。

▽諸説ありますが、書初めには、「1月2日に書初めを行うと字が上達する」という言い伝えがあり、「字が上手に書けるようになりましょう」という願いを込め行われ始めたそうです。

▽今年の雪まつりは第50回という節目でもあります。無事開催できることを祈りながら、準備を進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いします。

(小林)

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター 図書紹介

只見振興センター図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

★奥会津の人魚姫

西田理西 (幻冬舎メディアコンサルティング)



親友千景の誘いで奥会津を訪れた鍛冶内は、千景の結婚相手である乙音と出会う。美しく性格のいい乙音に魅了された鍛冶内だったが、千景は彼女がいないところで意外な話をする。それは先日湯船で溺死したのが本当は乙音で、自分が結婚したのは乙音と双子の汐里ではないかというのだ。そして溺死した娘を撮影した写真の存在を明らかにする。親友の頼みを受け、鍛冶内の謎解きが始まった。奥会津を舞台に、一枚の写真に隠された謎に迫るミステリー小説。

★チェスナットマン



セーアン・スヴァイストロプ (ハーバーコリンズ・ジャパン)

デンマーク・コペンハーゲンで若い母親を狙った凄惨な連続殺人事件が発生。現場には栗で作った小さな人形「チェスナットマン」が残されていた。人形に付着していた指紋が1年前に誘拐、殺害された少女のものと知った重大犯罪課の刑事トゥリー

ンとヘスは、服役中の犯人と少女の母親である政治家の周辺を調べ始める。捜査が混迷を極めるなか、新たな殺人が起き――。

最後の一行まで目が離せない！バリー賞新人賞を受賞し、世界50か国以上で出版された、注目の北欧ノワール・ミステリー。

○只見振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



(写真・文 吉岡義雄)

昆虫の越冬 —キリギリスの卵休眠—



▲ 地中に産卵するキリギリス。只見での産卵は7～8月に多い

日本で四季があるように、地球上の多くの地域において、周期的な環境の変化が繰り返されています。その中には、酷暑や極寒、餌の枯渇や干ばつなど、昆虫の生存が極めて難しい期間が存在します。このような期間の到来にあわせ、多くの昆虫は、あえて発育を停止します。これを休眠といい、休眠している間は極端な高温や低温、飢餓などに強くなります。休眠が解除されることで発育を再開しますが、休眠によって越冬する昆虫では、越冬の経験が休眠解除の条件であることが一般的です。

今回の主役であるキリギリスは、卵で休眠し、冬を越します。興味深いことに全ての卵が1度の越冬で孵化するわけではなく、2年後もしくはそれ以上の期間、孵化しない卵も存在します。また、それぞれのメスが1年で孵化する卵（1年卵）と孵化に2年以上要する卵を産み分けます。

それにしてもキリギリスはなぜ、このような産み分けをするのでしょうか？ 気温などの環境条件は年ごとに違います。キリギリスは寒さに弱く、異常な冷夏であった年には、産卵前に死んでしまうものが多くなります。そのため、全ての卵が産卵の翌春に孵化した場合、こうした年に全滅してしまう可能性があります。しかし、孵化までの年数が異なる卵を産み分けることで、全滅を回避することができます。つまりキリギリスは、越冬だけでなく生存に適さない年への保険にも休眠を利用しているのです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。
皆様のお越しをお待ちしております。

**企画展「自然素材を活かす技
～木地、編み組、草木染めと伝承製品の魅力～」**

会 期：2022年10月29日(土)～2023年3月27日(月)
場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー